



アドビ、企業のコンテンツ制作とプロダクションを加速する 「Adobe Firefly Services」と「Custom Models」を発表

- [Adobe Firefly](#) による生成 AI の新機能により、企業はコンテンツ制作を自動化しながら、ブランドに沿ってカスタマイズし、大規模なパーソナライゼーションを実現
- 「Adobe Firefly Services」は、API を介したワークフローの自動化によって、企業に品質を維持し統制の取れたコンテンツ制作の自動化を提供
- 「Custom Models」により、企業は IP、製品、ブランドのスタイルに基づいて、安全に商用利用できる生成 AI モデルをカスタマイズしてトレーニング可能。ローカリゼーションや e コマースのマーチャンドライジング、組織を横断したブランドの一貫性の維持を実現

【2024 年 3 月 27 日】

※当資料は、2024 年 3 月 26 日に米国本社から発表されたプレスリリース

(<https://news.adobe.com/news/news-details/2024/Adobe-Introduces-Firefly-Services-and-Custom-Models-to-Accelerate-Enterprise-Content-Creation-and-Production/default.aspx>) の抄訳です。

アドビ (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、年次のデジタルエクスペリエンスカンファレンスである [Adobe Summit](#) において企業がコンテンツ制作およびプロデュースする方法を刷新し、大規模なパーソナライゼーションを実現する「Adobe Firefly Services」と「Custom Models」を発表しました。

[Adobe Firefly Services](#) を使用すると、企業は 20 以上のジェネレーティブでクリエイティブな API、ツール、サービスにアクセスすることができます。クリエイティブチームが行っている手作業や反復作業を省き、様々なチャンネル向けのアセットサイズの変更から、マーチャンドライジングや e コマース向けの背景の生成と拡張、ローカリゼーションにおける風景や言語の置き換えまで、ローカリゼーションやパーソナライゼーションの取り組みを強化することができます。これらの機能は、Adobe Creative Cloud アプリケーションに組み込まれており、あらゆる制作ワークフローやエクス

ペリエンスワークフローに深く統合して、アセットバリエーションの制作を拡張することもできます。

Custom Models により、企業はモデルをトレーニングし、カスタマイズすることができます。Custom Models はトレーニングやメンテナンスが簡単で、企業全体で共有できるため、クリエイティブチームやマーケティングチーム間でのブランドの一貫性をサポートします。Adobe Firefly モデルを微調整することで、キャンペーンスタイルや背景からオブジェクト、キャラクター、被写体まで、自社の製品やブランドに特化したコンテンツを生成することができます。

アドビ デジタルメディア事業部門代表のデイビッド ワドワーニ (David Wadhvani) は、次のように述べています。「生成 AI 主導のパーソナライゼーションに寄せられる消費者の期待が高まり続ける中、Adobe Firefly Services と Custom Models は、企業に強力なカスタマイズ機能を与え、自動化プロセスの自由度を高める、これまでにない製品です。生成 AI への投資を試用段階から本番運用へとシフトさせるため、企業はアドビに注目しています。」

IBM Consulting のグローバル チーフデザイン オフィサーであるビリー シーブルック (Billy Seabrook) 氏は、次のように述べています。「より良い顧客体験に対する期待の高まりは、企業におけるマーケティングコンテンツの大規模な制作とパーソナライゼーションへのアプローチの再考を迫っています。アドビのアプリケーションは、私たちの制作プロセスの中核を担ってきました。そして今、生成 AI である Adobe Firefly により、ブランドに沿った画像やテンプレートを多様なスタイルやサイズで迅速に生成することが可能となり、より多くの人が製作過程に参加できるようになりました。」

アドビの最新のイノベーションにより、クリエイターは、より戦略的で価値の高い仕事に取り組むだけでなく、ユニークなクリエイティブ表現に集中する時間を確保することができます。[アドビの調査](#)によると、大多数のクリエイティブプロフェッショナルがクリエイティブな作業に費やす時間は稼働時間全体の 30%程度に過ぎないことが示されています。

クリエイティブチームとマーケティングチームをつなぐ

Adobe Firefly Services を利用することで、企業は Adobe Firefly モデルだけでなく、20 以上のジェネレーティブおよび Creative Cloud API を既存のプロダクションおよびエクスペリエンスワークフ

ロー内で活用し、様々なアセットのバリエーションを作成することができます。チームは新しいコンテンツを生成し、サイズ変更、オブジェクトや背景の置き換えなど、必要な編集をすべて行った後、コンテンツを完成したアセットに組み立て、配信準備を整えることができます。Adobe Firefly Services の導入により、クリエイティブチームはさまざまなオーディエンスセグメントやマーケット、配信チャンネルそれぞれに特化したカスタムアセットを配信できるため、マーケティングチームが担当する大規模なパーソナライゼーションをより効果的にサポートできます。SNS などのチャンネルにおいては特に、顧客の関心を引き続ける新鮮なコンテンツが求められ、そのスピードは非常に重要です。

この度、一般提供が開始された Custom Models を使うことで、企業はブランドに沿ったオブジェクト、背景、スタイルなどを生成することができます。多くの企業にとって、ブランドのアイデンティティは最も価値ある資産のひとつです。アドビの生成 AI モデルを独自のアセット（10~20 枚の画像）でチューニングすることで、ニーズに合わせて Adobe Firefly を即座に最適化することができます。また、厳格なガバナンスとセキュリティ管理により、企業のコンテンツ、データ、ワークフローを組織内に留めます。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

©2024 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.